

調査研究
会派（研修）結果報告書
要請・陳情活動

令和元年 8 月 8 日

会 派 名 令和会
代表者氏名 田坂 武文



場 所	福岡市博多区博多駅東1丁目16-14リファレンス駅東ビル
期 間	令和元年7月29日 ～ 令和元年7月30日
経 費	318,740円
参加者氏名	鈴木英士 牛尾容子 田坂武文
目 的	公共施設のマネジメントについての知識を身につける
内 容 (視察先の 現状、東広 島市との比 較、要請・ 陳情等)	<p>一般社団法人地方議員研修会主催の研修に参加し、以下の講座を受講した。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 財政問題としての公共施設マネジメント2. 公共施設マネジメントから始まる本格的行政改革3. 指定管理者制度で「稼ぐ施設」の実現4. 公会計改革による自治体「経営」 <p>主な内容は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">・公共施設等総合管理計画は、施設総面積の圧縮目標と10年ごとの中間目標を設定する総合計画型のプランではなく、具体的な地域や施設を想定したモデル事業として取り組む必要がある。また、指定管理者制度や包括民間委託などの手法で経費の削減とノウハウを取り入れるとともに、受益者負担の見直しや遊休資産の活用により更新財源を確保することが必要である。・公共施設の稼働率が低いという実態から、縮充という考え方により、施設における機能の統合（複合化、多目的化）を進める必要がある。・建物躯体の耐用年数だけでなく、設備の減価償却期間も算定した、正確な施設老朽化の判断基準と更新の優先度の決定が必要である。そのため、固定資産台帳の整備を行い、事業・施設別の財務諸表整備を進めることにより、単年度・現金主義の財政運営に結びつけることが必要である。
効果・成果 等	公共施設のマネジメントについて、講師の幅広い見識を学ぶことができ、本市の公共施設等総合管理計画などの課題について、認識することができた。

調査研究
会派（研修）結果報告書
要請・陳情活動

令和元年8月8日

会 派 名 令和会

代表者氏名 田坂 武文



場 所	名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル
期 間	令和元年8月4日 ~ 令和元年8月5日
経 費	74,780円
参加者氏名	田坂武文
目 的	議員として議会における質問力を身につける
内 容 (視察先の 現状、東広 島市との比 較、要請・ 陳情等)	<p>一般社団法人日本経営協会主催の「地方議員のための議会における質問力向上」講座を受講した。</p> <p>主な内容は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">・良い質問とは、①主張に一貫性がある②具体的目標が示されていること③目標との関係で執行部に数字やデータを尋ねることといった要素を備え、行政の改善につながる質問である。・特定の事業の執行状況や具体的問題点を指摘することによって、監査機能を果たすことができる。また、やり方について、改善提案を提示したり、取り上げられていない政策課題を提起することにより、政策提案機能を果たすことができる。・問題解決のためには、執行機関に「やります」と答えさせなければならないから、再質問、再々質問の議論で、執行部の答弁を質していく。・質問・質疑で引き出した問題点を議会全体として共有化し、解決に向けて政策研究会等で議論し、議会としての政策提案や政策提言に結びつけることが重要である。・執行部が「検討する」と答弁した事項について、その後の対応を追跡することが重要である。
効果・成果 等	一般質問について、基礎知識と具体例を学ぶことができた。 今後の議員活動（代表質問・一般質問）に生かしていきたい。

調査研究
会派（ 研修 ） 結果報告書
要請・陳情活動

令和2年2月20日

会 派 名 令和会
代表者氏名 田坂 武文



場 所	紺屋町 dein 愛媛県西条市役所
期 間	令和元年 11 月 21 日 ～ 令和元年 11 月 22 日
経 費	127,880 円
参加者氏名	田坂武文 鈴木英士 牛尾容子
目 的	紺屋町 dein Next commons Lab 西条 について 西条市役所 スマートシティ西条（ICT 活用による教育・高齢者対策）について 西条市自治体政策研究所における自治体シンクタンクについて
内 容 （視察先の 現状、東広 島市との比 較、要請・ 陳情等）	紺屋町 dein Next commons Lab 西条とは… 西条市では、中国・四国地方において初めてとなる総務省の「地域おこし協力隊制度」を起業支援に特化した制度として活用し、起業家育成による新産業創出と交流人口拡大、移住・定住促進を目的とした「ローカルベンチャー誘致・育成事業」に取り組んでいる。 西条市の街中の紺屋町の商業跡地を会員でリノベーションし、コーディネーターも在住し、メンバー間の繋がり、支援体制も整っている。 地域おこし協力隊を起業家支援に特化し、市が選定し、コーディネーターを配置し、起業家支援という体制で活用している。制度終了後も西条市で継続して、市が求める事業を行う。とても良い制度ではないかと思われる。

<p>内 容 (視察先の 現状、東広 島市との比 較、要請・ 陳情等)</p>	<p>西条市役所</p> <p>愛媛県西条市では、ICT（情報通信技術）を活用し、地域の誰もがつながり、安全・安心に、豊かで快適な生活を送ることのできるまちづくりをすすめ、そのメリットをすべての市民が享受できる「スマートシティ西条」の構築を目指している。先行する教育分野のICT活用に加え、市民の健康づくり、子育て支援、高齢者福祉などの分野で、ICTを活用した様々なトライアル事業や関連事業に取り組んでいる。令和会として、西条市の先進的な教育分野でのICT活用について、見守りロボットを用いた高齢者見守り支援事業を視察した。教育分野での活用についてとても参考になったのは、ICT支援員による学校内での教職員の校務支援システムの利用方法の支援をする仕組みである。ベネッセからのICT支援員の利用により、校務支援システムが円滑に利用でき、実用化しているとのこと。本市でも、校務支援システムを導入しているが、現場では使い方や入力業務の多さなどから、あまり活用できていないのが現状である。本市でも支援員を導入し、教員がシステムを上手く活用できる様、検討していく必要性を感じた。</p> <p>ロボットを使用した高齢者の見守り事業については、現在様々なAI見守りロボットがあるが、機能に関する問題や高額のため、導入できていない。西条市では、希望の市内在住の高齢者宅10件に音声認識AIを内蔵した見守りロボットを設置し、ソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）を通じて、離れて暮らす家族との間で写真や音声メッセージ等をやり取りし、毎日のコミュニケーションを負担なく確実に実現する支援事業を行なった。高齢者を見守るだけでなく、高齢者に楽しさや喜びを提供し健康寿命の延伸やQOLの向上につなげ、住みやすさを実感していただく狙いがあるとのこと。高齢者の90%が家族とのコミュニケーションが良くなり、一人暮らしの寂しさが軽減したと評価し、県外に住む家族の92%が安心感が増したと答えた。本市でも活用していきたいが、本市は県外からの市民が多く、県外に住む親の安否が気になる場合が多く、その場合、どの様に支援していくか、西条市と逆のケースも多いので、今後検討し、活用していきたいと考える。</p> <p>2018年現在、全国では48カ所の自治体シンクタンクがあり、自治体職員の自治体シンクタンクは、職員が政策研究・立案過程に関与することによって政策形成能力の体得を支援し、ひいては中長期的に都市競争力の向上に繋げていくことを目指し開設されている。</p>
---	---

<p>内 容 (視察先の 現状、東広 島市との比 較、要請・ 陳情等)</p>	<p>西条市自治体政策研究所では、西条市自治政策研究所政策形成アドバイザーとして、西村 勝志氏(愛媛大学社会共創学部長)、牧瀬 稔氏(関東学院大学法学部准教授)を置き、大学との調査研究活動の相互協力に関する覚書調印をし、開設している。</p> <p>特定研究員で構成する3名ずつのチームを結成し、それぞれチームリーダーを選出し、当該年度に取り組む調査・研究テーマを決定し、年度末に発表会を行う。本市でも、広大等と連携し、職員のみならず議員も参加できる自治体シンクタンクを開設し、政策形成能力の体得を支援していくことは必要ではないかと感じた。</p>
<p>効果・成果 等</p>	<p>紺屋町 dein</p> <p>本市も Hi-biz などを利用し、地域起こし協力隊を本市が必要とする様々な事業の起業支援として行って良いのではないかと期待する。それには起業経験と熱意あるコーディネーターの存在は必須であるが、この西条市での取り組みは非常に参考となり、本市でも積極的に行ってはどうかと期待する。</p> <p>西条市役所</p> <p>会派で、ICT の有効活用の必要性を確認できた。教育現場での ICT 支援員の必要性、高齢者見守りロボット等の AI、ICT の活用について、文教厚生委員会等で質問し、提言できた。また自治体シンクタンクの重要性も理解でき、今後市への提言に向けて活用していく。</p> <p>また、西条市長にも面会し、西条市と東広島市の連携についての絆づくりの一助になれたらと期待する。</p>

[調査研究]
会派（ 研 修 ） 結果報告書
要請・陳情活動

令和2年3月10日

会 派 名 令和会
代表者氏名 田坂 武文



場 所	東池袋フレイル対策センター 大和市文化創造拠点シリウス
期 間	令和2年1月26日 ～令和2年1月28日
経 費	150,600 円
参加者氏名	田坂武文 鈴木英士 牛尾容子
目 的	フレイル対策について 大和市文化創造拠点シリウスについて
内 容 (視察先の 現状、東広 島市との比 較、要請・ 陳情等)	<p>日本初のフレイル対策センターでは、フレイルチェックなどの健康測定や豊島区オリジナルの「としまる体操」の実施、各種講座の開催など、フレイル対策事業に加え、フレイル予防や介護予防、生活習慣病などに関する専門職の相談事業、認知症カフェや認知症介護者の会の開催などの認知症対策事業を行う。フレイル対策センターの運営団体特定非営利活動法人ワーカーズコープに委託している。</p> <p>また、高齢者交流の場として、カフェの設置やおとな食堂を実施。カフェでは、低栄養が気になる方向けの高たんぱくメニューや口腔機能が気になる方向けの無理なく噛み応えのあるメニューなど、特色あるメニューを提供する。</p> <p>おとな食堂では、高齢者の孤食、閉じこもりを抑止するため、週1回水曜日夕方・夜間に食事の提供を行う。今後は、おとな食堂と子ども食堂との連携も実施予定。</p> <p>担当者は「フレイル対策をコンセプトに、健康寿命を延ばし、地域に介護予防の拠点が拡がり定着することで、区民と地域がより元気になることを目指したい」とのこと。</p>

<p>内 容 (視察先の 現状、東広 島市との比 較、要請・ 陳情等)</p>	<p>大和市文化創造拠点は、芸術文化や生涯学習、知識・人々の一体感を生み出す場として 2016 年に誕生し、図書館を中核とし、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場が主な施設で、現在 1000 万人の来場者となった巨大複合施設である。</p> <p>大和市は、健康を市政運営の中心に据えており、シリウスでもテーマは「健康」で、シリウスでも健康に注目したテーマで様々な展示物、イベント、研修が行われていた。</p> <p>子育てエリアも非常に充実しており、乳幼児から 2 歳まで、3 歳から小学校低学年までのエリアと遊び場が分かれ、屋内で安心して過ごせる施設が充実していた。</p> <p>シリウスは非常に大きく充実していて、「日本一大きな図書館」とも言われているが、指定管理料も年間 8 億円と膨大である。</p> <p>本市も生涯学習センター跡地に、この様な複合施設ができ、芸術文化ホールくららとペDESTリアンデッキで繋がる様になれば、人々の居場所、真の芸術文化の拠点ゾーンになり、人々の集える、健康増進にもつながる素晴らしい施設になるのではないかと考えた。</p>
<p>効果・成果 等</p>	<p>今回の代表質問でも、複合施設のあり方、中央生涯学習センター跡地利用について、フレイル予防について、今回の視察を参考に提案でき、非常に参考になった。</p>

調査研究
 会派（研 修）結果報告書
 要請・陳情活動

令和 2年 4月 5日

会 派 名 令和会
 代表者氏名 田坂 武文



場 所	東広島市役所等
期 間	鈴木英士 令和元年8月1日 ～ 令和元年9月30日 牛尾容子 令和2年2月1日 ～ 令和2年3月31日
経 費	65,400円
参加者氏名	鈴木英士 牛尾容子
目 的	<p>学生を対象とした議員インターンシッププログラムの提供。 社会の見聞を深め、参政の重要性を認識し、主体的に生きていくことの出来る人材を輩出することを目的。 「政治」は社会をあらゆる側面から支え、国家の仕組みを定めることである。 その「政治」を担う主体である「議員」の仕事を経験することは、様々な分野を広く見渡し、包括的にとらえることのできる貴重な機会となる。</p>
内 容 （視察先の 現状、東広 島市との比 較、要請・ 陳情等）	<p>NPO 法人ドットジェイピーは、議員事務所、NPO でのインターンシップや、政策コンテスト「未来国会」といった体験型プログラムを通じ、若者の投票率を上げることを目的に活動している団体である。 広島大学のドットジェイピーの学生スタッフからインターンシップの学生の受け入れ依頼を受け、その意図に意義を感じ、鈴木と牛尾が学生の受け入れを行った。</p> <p>夏 季 鈴木英士担当 学 生 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX 活動内容 東広島市が抱える社会課題に対し、市役所や関係施設等への聞き取りを通じ、提言を作成した。 また、その提言を東広島市政策企画部長及び広島県議会議員に発表した。</p>

<p>内 容 (視察先の 現状、東広 島市との比 較、要請・ 陳情等)</p>	<p>春 季 牛尾容子担当 学 生 ██████████ ██████████ 活動内容 令和2年度第一回定例会代表質問 文教厚生委員会 広報広聴委員会傍聴。 様々な市のイベントに共に参加。 「ブランコ存続を願う会」参加者の陳情、こども未来部と の懇談、市長へ要望書提出も共に参加し、市民の生の声を 聞く機会を得た。</p>
<p>効果・成果 等</p>	<p>市の課題に対して、若い世代からの提言を得ることができた。 学生が市議会の仕組みを知り、委員会、代表質問では東広島市の課 題について具体的に知ることができ、市政への興味を持つことができ た。 また、市民活動に参加することで、市民の方々と実際に関わり、課 題を深く理解する機会に恵まれ、「非常に良い経験となった」と学生 自ら話した。 2期とも、学生の目的を達することができ、担当議員も社会貢献が できた。</p>